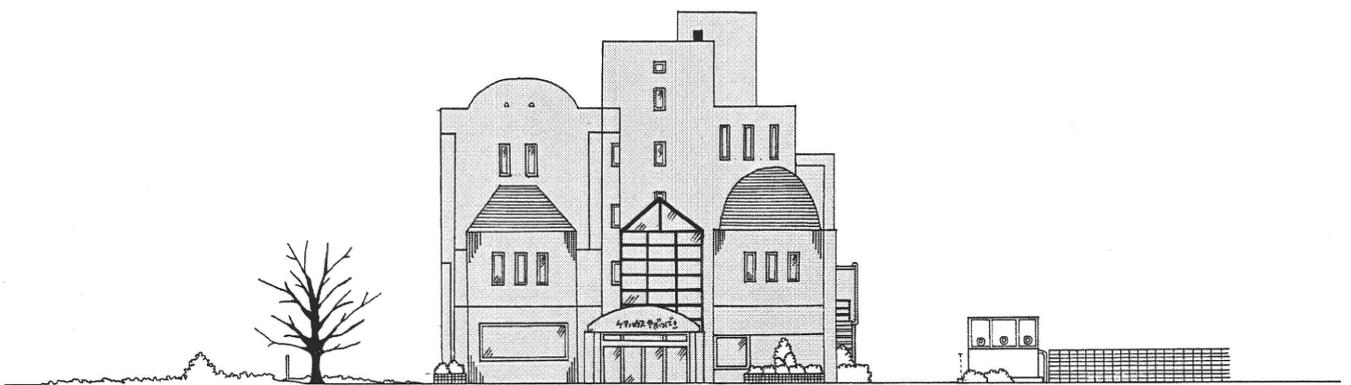
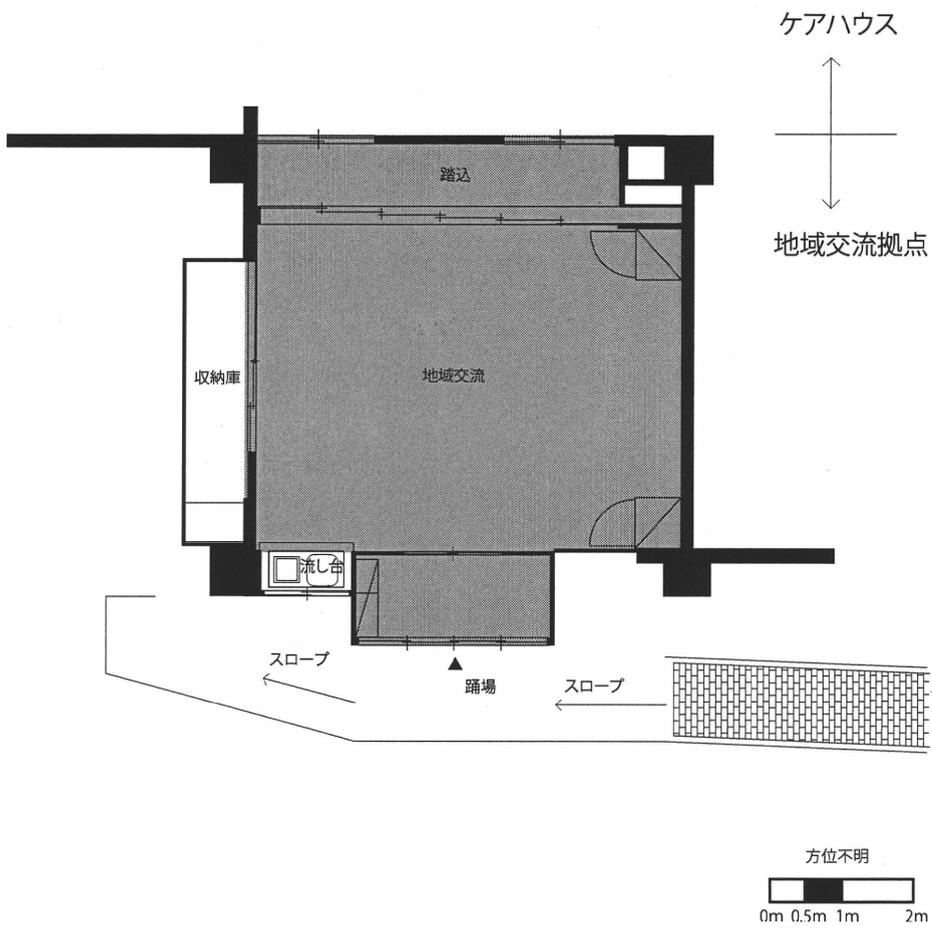


1:1500

やぶつばき 配置図

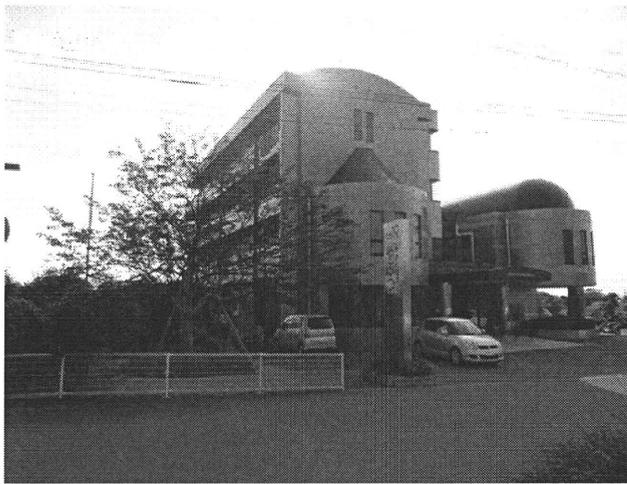


やぶつばき 北東側立面図 1/400



地域交流スペース面積：45.50㎡

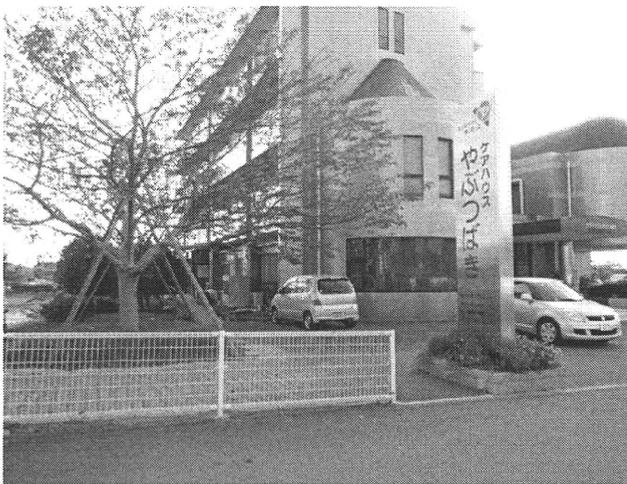
やぶつばき平面図 1/100



①建物外観



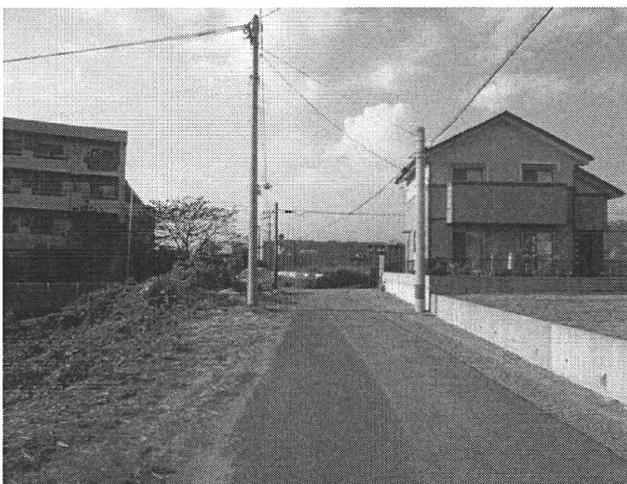
②建物外観



③建物外観 交流拠点の入口



④建物外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	鞍馬南校区	交流拠点名	きてみてテラス
		法人名	(社福)東翔会

## 【施設概要】

1.	開設年月	平成19年9月開設		
2.	整備手法	新規建設		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:4350万円(うち補助金額750万円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一建物内にあるもの	小規模多機能ホーム		
3.	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れやすいと思う		
	その理由:校区内の主要公園・地区公民館・校区内中心道路に近く、民家の一角に設置されているため。			
	運営に関わる主なスタッフ数	5名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	介護福祉士	介護予防・相談センターとの兼務
	2人目	兼任	介護福祉士・介護支援専門員	介護予防・相談センターとの兼務
	3人目	兼任	介護福祉士・介護支援専門員	介護予防・相談センターとの兼務
	4人目	兼任	介護福祉士・介護支援専門員	介護予防・相談センターとの兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:14万円	支出:6万円	
	交流拠点の家賃	家賃なし【事業内容・運営形態】*建物維持管理費は含まれていません		

## 【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合	
	8	214	1427	0:7:0:1	
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合	参加者の流動性	固定, ほぼ固定, 流動	
8.	4:4	4:0:4	4:1:3		
	定期的な活動は、法人主体の体操教室である。体操教室の種類が豊富であり、頭の体操、理学療法士の講義、アロハがある。その他にも地域住民にカレーをふるまう活動や、子育て世代の交流を意図した活動等も実施されている。				
	7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
		開館曜日	月～金（事前申込がある場合は、例外）	開館時間	10:00～16:00
		開館時の職員の常駐場所	内容により担当・送迎で関わる。それ以外は母体施設で本来の担当業務に従事		
		毎月の延利用者数	約110名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
		大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況		実施していない	
		大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無		有	
		名称)高齢者筋力アップ教室事業、認知症予防教室			
		独自の交流拠点事業		実施している	
		対象者)高齢者、子育て世代、多世代向け		参加形式)事前登録制・事前登録不要の双方ともあり	
		住民による校区活動やサークル活動時の利用形態		事前予約が必要・空いていれば利用可	
		不定期の利用回数		2回/月	
		常時運営している有料のレストランや食事処		無	
		提供内容	利用者数		
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄り場		無		
	提供内容	利用者数			
	ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約48名/月	
	送迎の有無		有		
	地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)		有		

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	他の交流拠点の状況を十分に把握しているわけではないので、不明です。			
10.	広報誌(A4 1枚程度のもも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能 各種拠点(公民館、小学校、コンビニ、スーパー等)に掲示・持ち帰り可能			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約7名	校区活動経験	経験豊富
	校区での立場	民生児童委員、老人クラブ、ボランティア、一般住民		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	他の交流拠点の状況を十分に把握しているわけではないので不明です。校区社協会議への出席や地域ネットワーク活動を通じ、定期的に打ち合わせや活動を行っています。			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている 地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらっていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	校区内に小サロンの設置を検討している		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

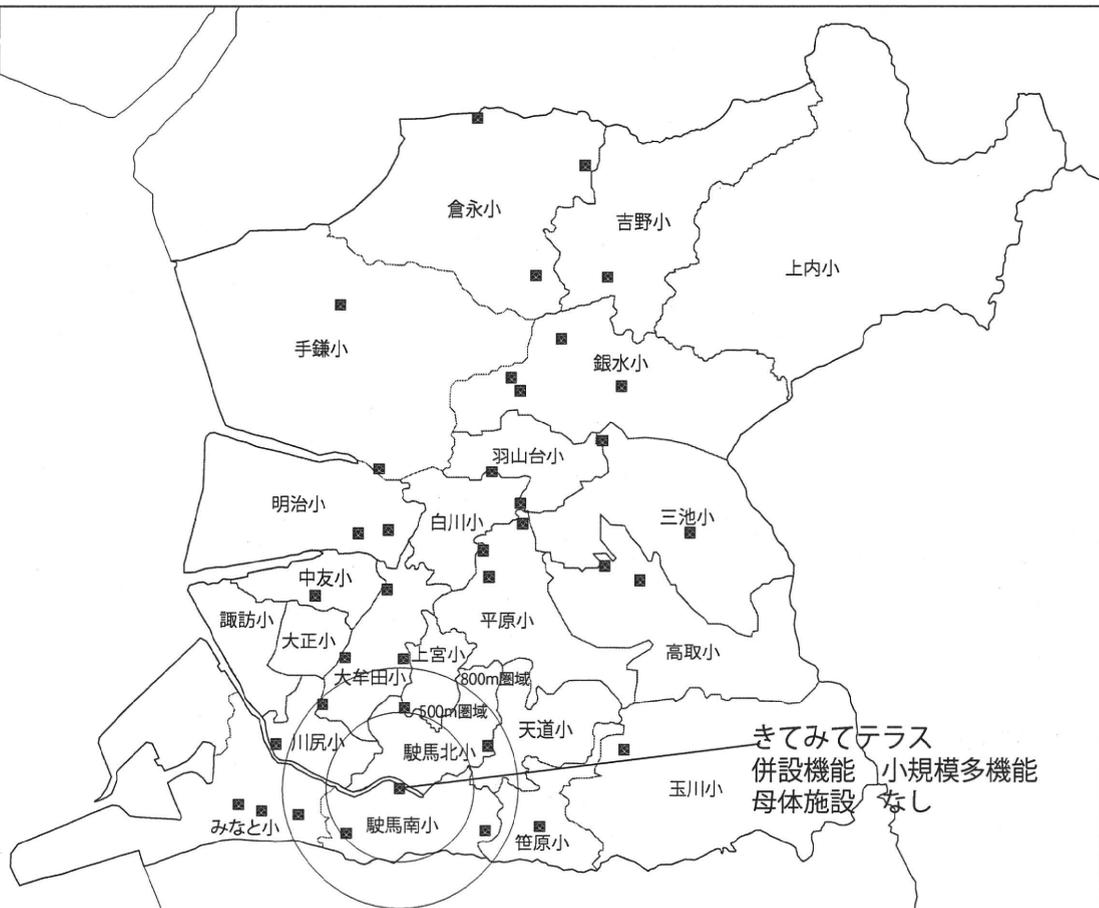
17.	地区校区の住民活動について			
	他の校区の状況を十分に把握はしていませんが、活動が活発であるとの話をよく伺います。			
18.	校区の住民活動について			
	他の校区の中でどうかはわかりませんが、連携が良くなされていると思います。			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		有	
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか 地域住民から認知症を伴う方の情報が入り、介護予防・相談センターが訪問し、認知症予防教室から小規模多機能のサービスへつながった。また、在宅では、その地域住民の見守り支援が中心となっており連携して支援にあたったケース			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	未回答		有の場合	
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	地域交流施設自体も地域住民に対し、積極的に情報を発信し、その役割や目的、利用等について周知していく努力が必要であると思います。また、行政側からも地域関係団体等へ、理解していただくための働きかけを強化していただき、多くの方が理解する、知ることが重要であると感じています。(単に法人の施設ではなく、地域住民のためにあるんだと)			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	地域交流施設と市社協・校区社協の関係が、大きな枠組み(具体的な事業計画等)でどのように位置づけられているのかなど、根本的に仕組みとしての組み立てと理解、共有が前提と感じています。			

大牟田市全域

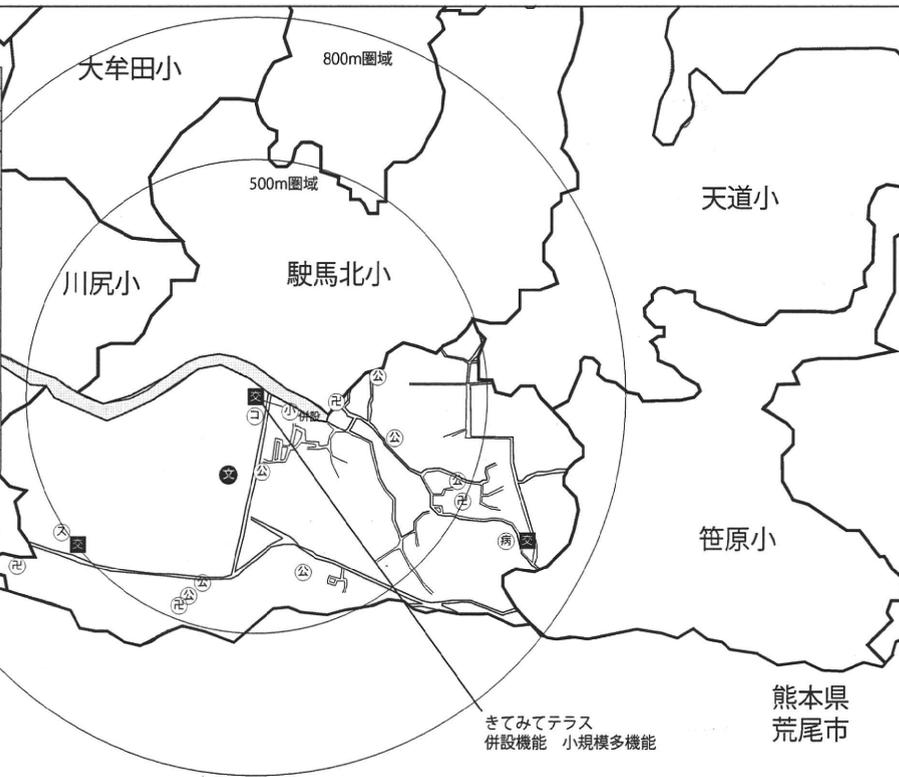
1 : 25000



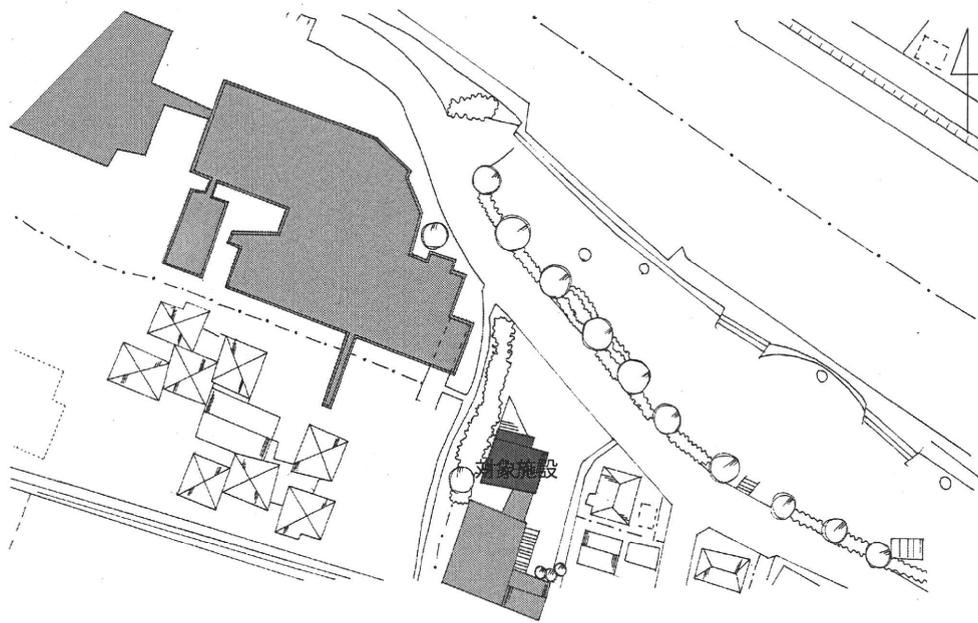
駒馬南小学校区

1 : 8000

圏域内の施設の数	圏域内の施設の数	
	500m	800m
交流施設	2個	3個
コンビニ	1個	1個
神社・寺	3個	4個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー	1個	1個
公民館	7個	7個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)		1個
幼稚園・保育園		
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター		

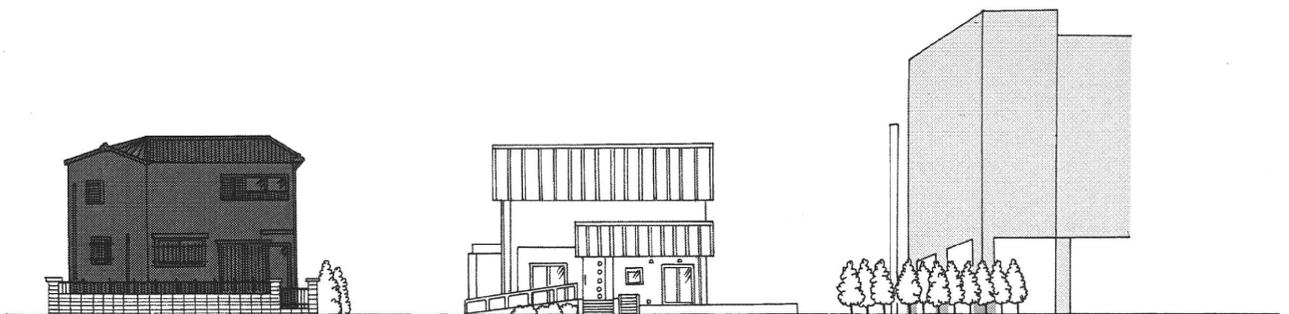


人口	4301人	老人クラブ加入率	16.6%
65歳以上の高齢者数	1403人	公民館加入率	42.6%
単身高齢者世帯数	420人	投票率	55.8%

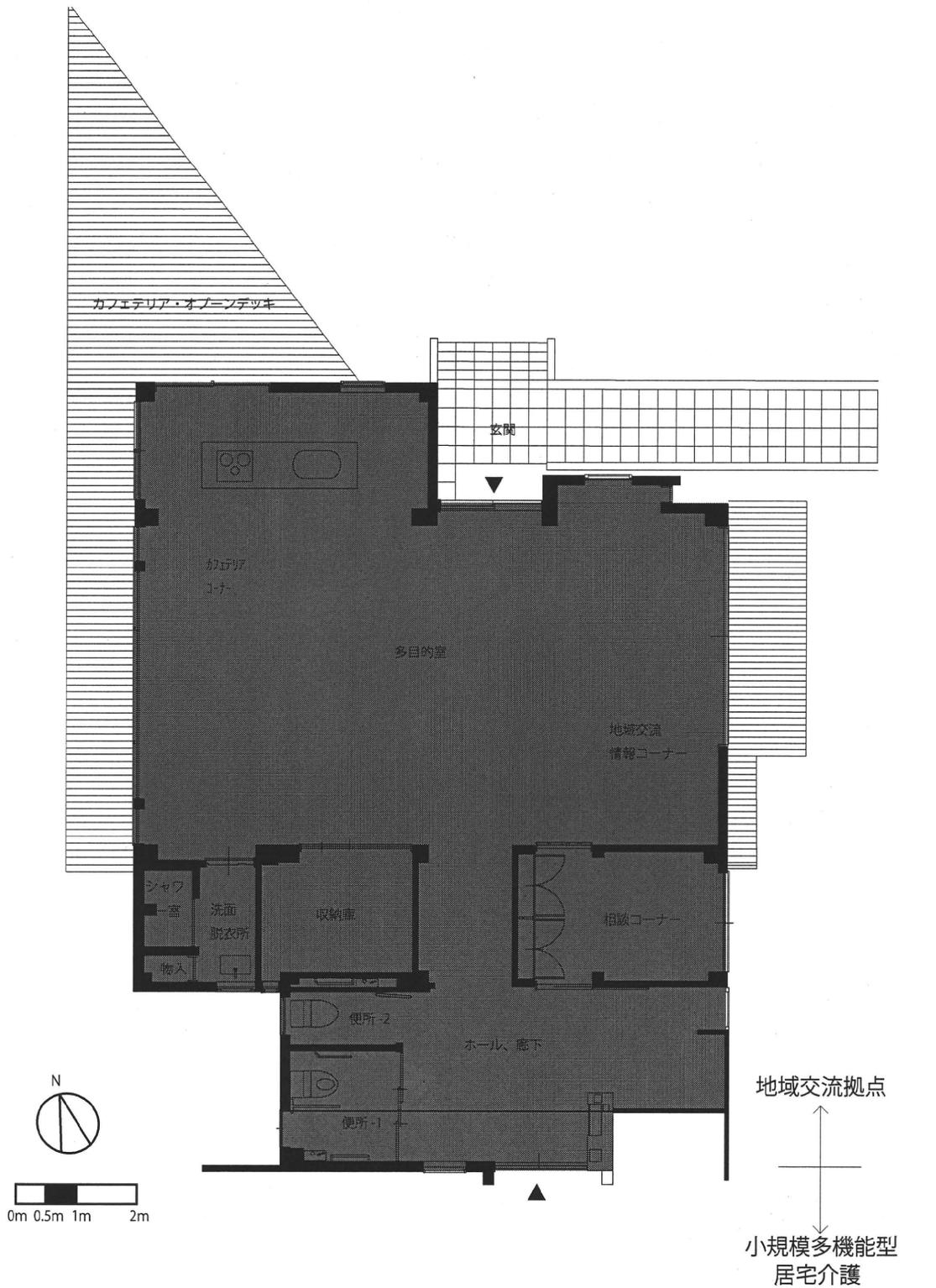


1:1500

来てみてテラス 配置図



来てみてテラス 北東側立面図 1/400

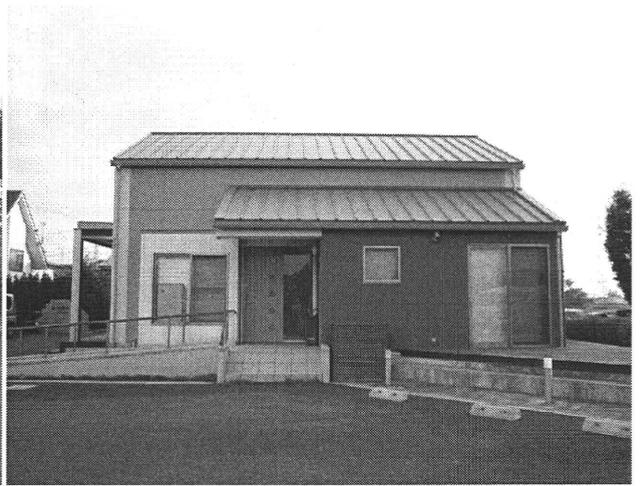


地域交流スペース面積：63.84㎡

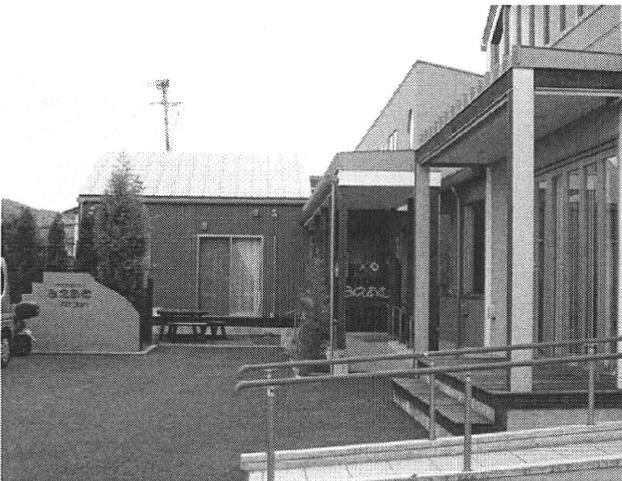
来てみてテラス平面図 1/100



①建物外観（交流拠点）



②建物外観（交流拠点）



③建物外観（奥：小規模多機能）



④母体特養外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	鞍馬南校区	交流拠点名	サロン・すいせん
		法人名	(財)大牟田医療協会

## 【施設概要】

1.	開設年月	平成20年10月開設	
	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1639万円(うち補助金額730万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無	
2.	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	どちらとも言えない	
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか		
	その理由:		
3.	運営に関わる主なスタッフ数	1名	
	主なスタッフの勤務状況	保有資格	
4.	1人目	専任	なし
5.	平成21年度の運営費	収入:0万円	支出:50万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

## 【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	1	12	180	0:1:0:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	0:1	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合	参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
		0:0:1	0:1:0	
	活動は月に1回程度の割合で実施される体操講座のみである。体操講座の主な参加者は高齢者世帯であり、1回あたりの参加者数は10名前後である。			
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～金、土	日・祝・盆・年末年始休み	開館時間 9:00～17:00 (±9:00～12:30)
	開館時の職員の常駐場所	地域交流施設		
8.	毎月の延利用者数	約160名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施していない
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け	参加形式)未回答		
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約制
	不定期の利用回数			
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			有
	提供内容	喫茶無料		利用者数
ボランティアの参加の有無	無	延ボランティア数	未回答	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携ができていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

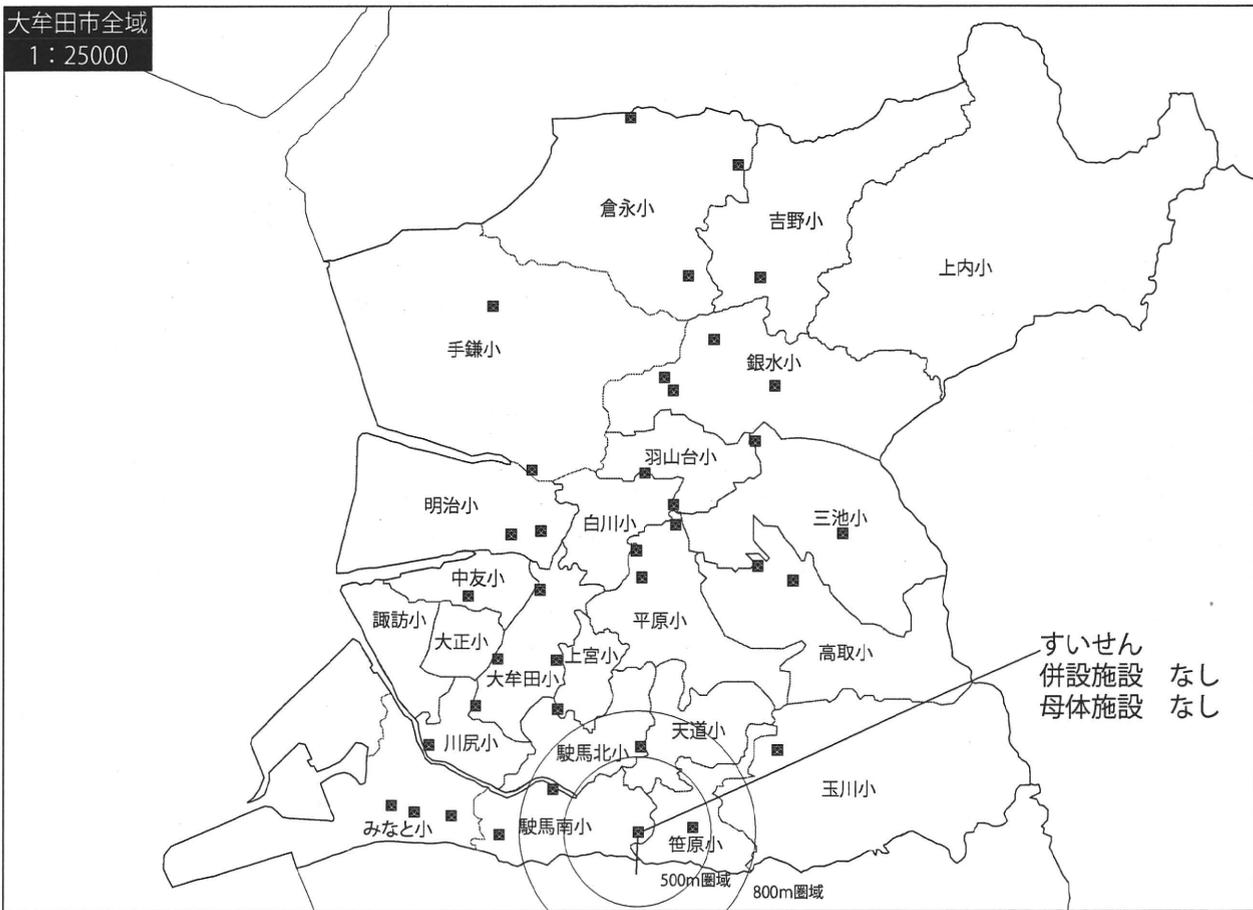
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が特に活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がとともある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか			
	サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

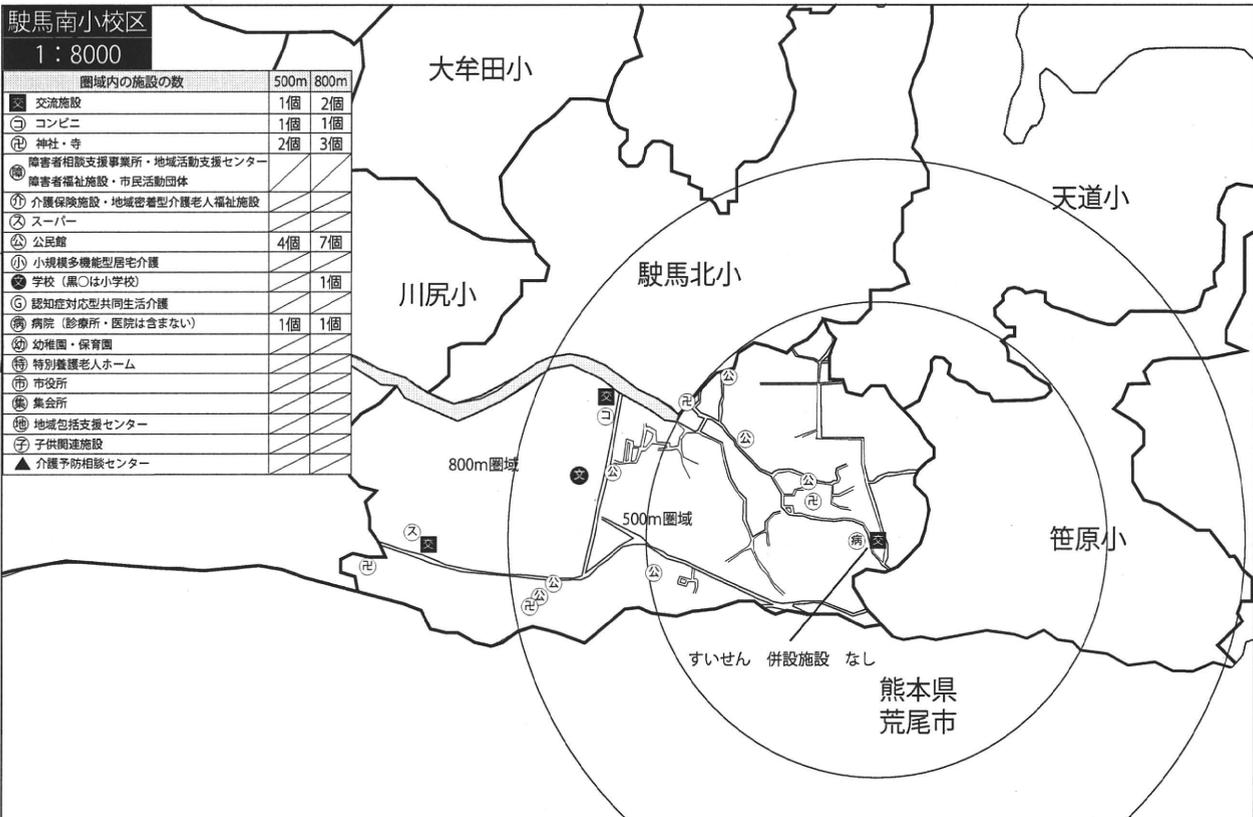
大牟田市全域

1 : 25000



駿馬南小校区

1 : 8000



圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	1個	2個
コンビニ	1個	1個
神社・寺	2個	3個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		
公民館	4個	7個
小規模多機能型居宅介護		
学校 (黒○は小学校)		1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園		
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター		

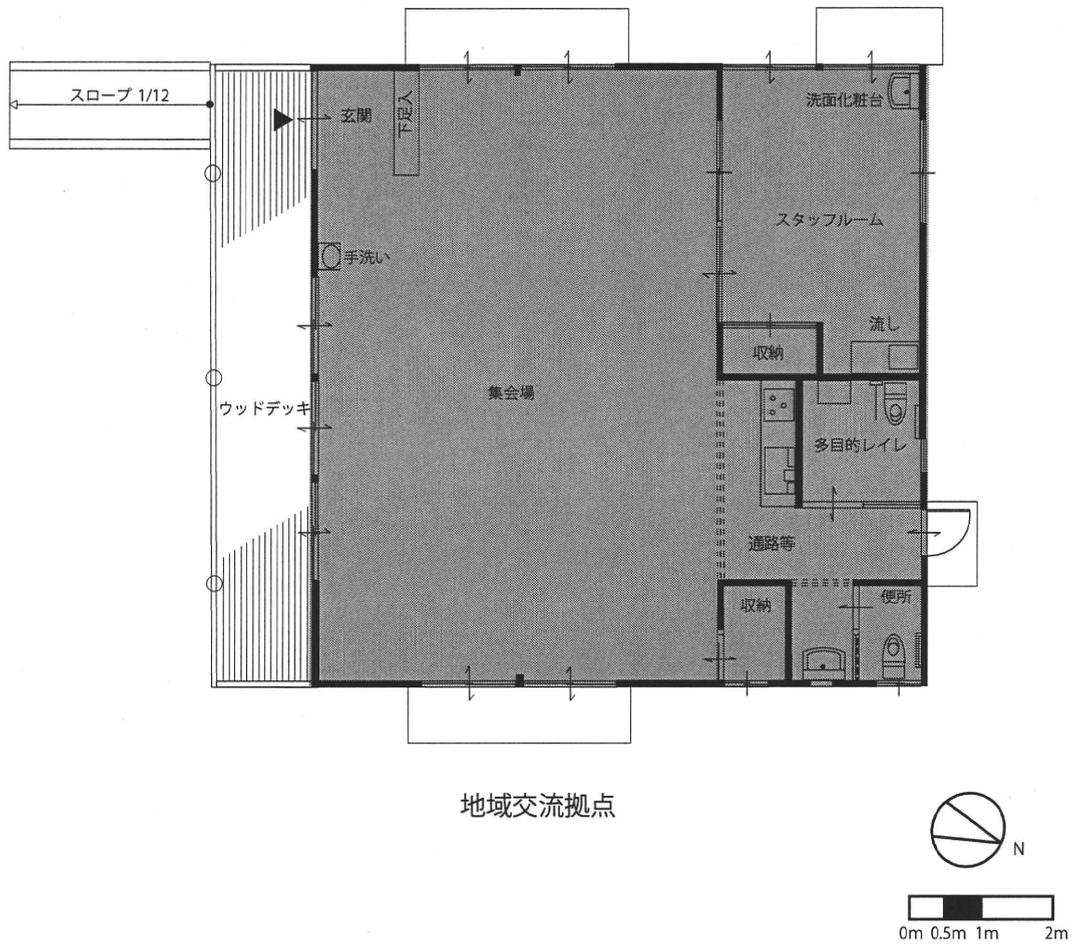
人口	4301人	老人クラブ加入率	16.6%
65歳以上の高齢者数	1403人	公民館加入率	42.6%
単身高齢者世帯数	420人	投票率	55.8%



すいせん 配置図



すいせん 西側立面図 1/400



地域交流スペース面積：79.49㎡

すいせん平面図 1/100



①交流拠点



①交流拠点



③建物外観（グループホーム）



④建物外観（有料老人ホーム）



⑤周辺写真



⑥母体病院

校区	みなと校区	交流拠点名	小規模多機能ホーム 槐
		法人名	(医)吉田クリニック

## 【施設概要】

1.	開設年月	平成20年8月開設	
2.	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1483万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	小規模多機能	
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れやすいと思う	
	その理由:クリニックに隣接しており、比較的訪れやすいと思う。		
3.	運営に関わる主なスタッフ数	9名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目 兼任	ケアマネ	小規模多機能との兼務
	2人目 兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
	3人目 兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
	4人目 兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:0万円	支出:3万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

## 【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合	
	5	114	782	1:1:3:0	
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動	
	4:1	3:0:2		4:1:0	
	定期的な活動は、市からの委託事業であるはにかみ教室と、法人主体による太極拳教室やサロン活動である。1回あたりの参加者数は10名程度から40名程度を幅が広く行われている。その他にも地域住民主体の活動としてパン作り教室なども開催されている。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。			
	開館曜日	毎日	開館時間	7:30~19:00	
8.	開館時の職員の常駐場所	併設施設			
	毎月の延利用者数	約120名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している	
	大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している	
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無	
	名称)	独自の交流拠点事業			
	対象者)			参加形式)	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可	
	不定期の利用回数			12回/月	
	常時運営している有料のレストランや食事処			無	
	提供内容			利用者数	
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄り場			無	
	提供内容			利用者数	
	ボランティアの参加の有無		有	延ボランティア数	未回答
	送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有		

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無(該当者はあり)
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			未回答
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

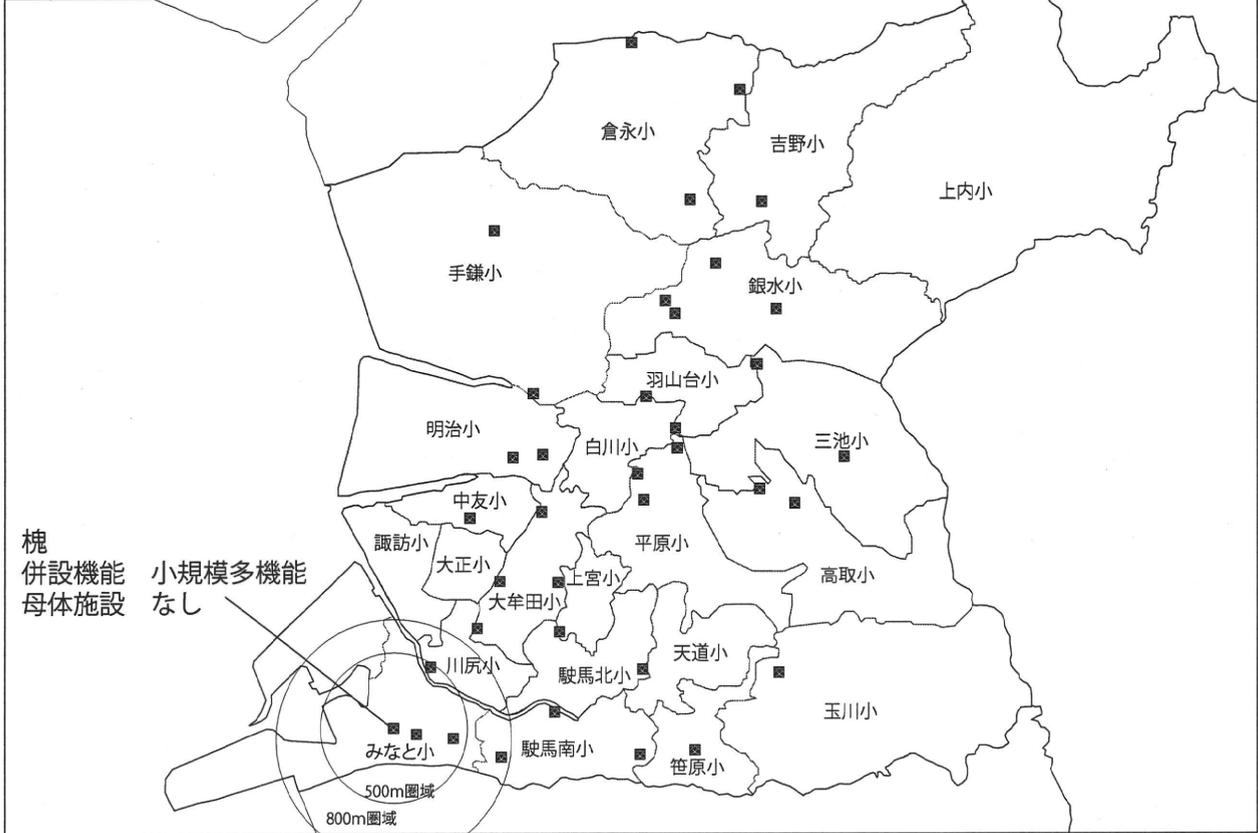
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか			
	サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	未回答			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域

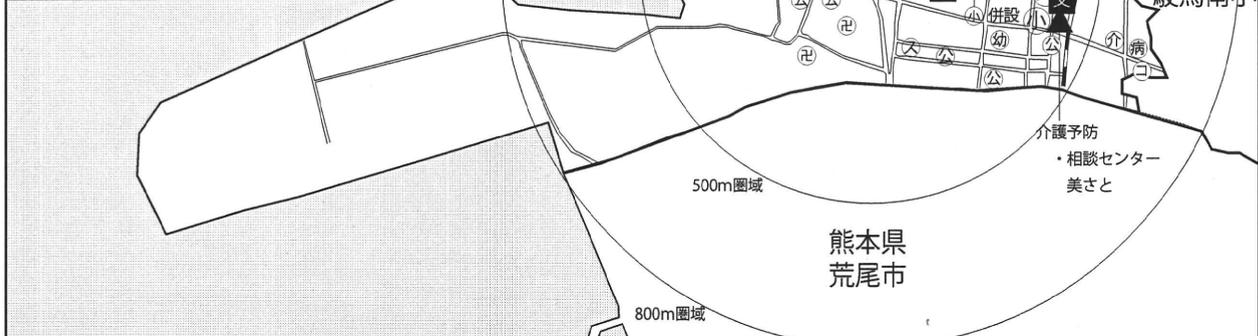
1 : 25000



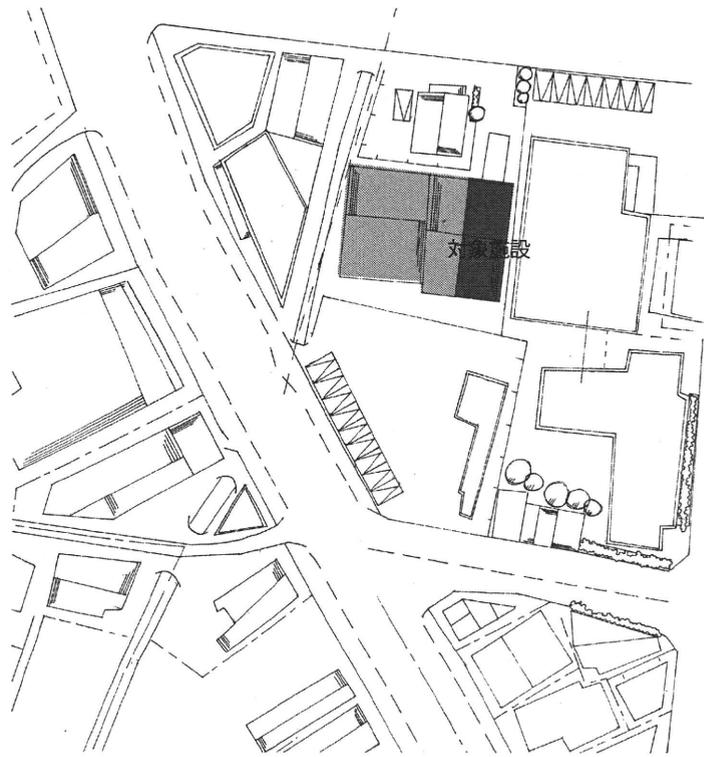
みなと小校区

1 : 8000

圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	3個
コンビニ	1個	3個
神社・寺	4個	4個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	1個	2個
スーパー	2個	2個
公民館	8個	8個
小規模多機能型居宅介護	3個	3個
学校 (黒○は小学校)	2個	2個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	
幼稚園・保育園	3個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター	1個	1個



人口	7892人	老人クラブ加入率	6.9%
65歳以上の高齢者数	2454人	公民館加入率	40.7%
単身高齢者世帯数	804人	投票率	56.2%

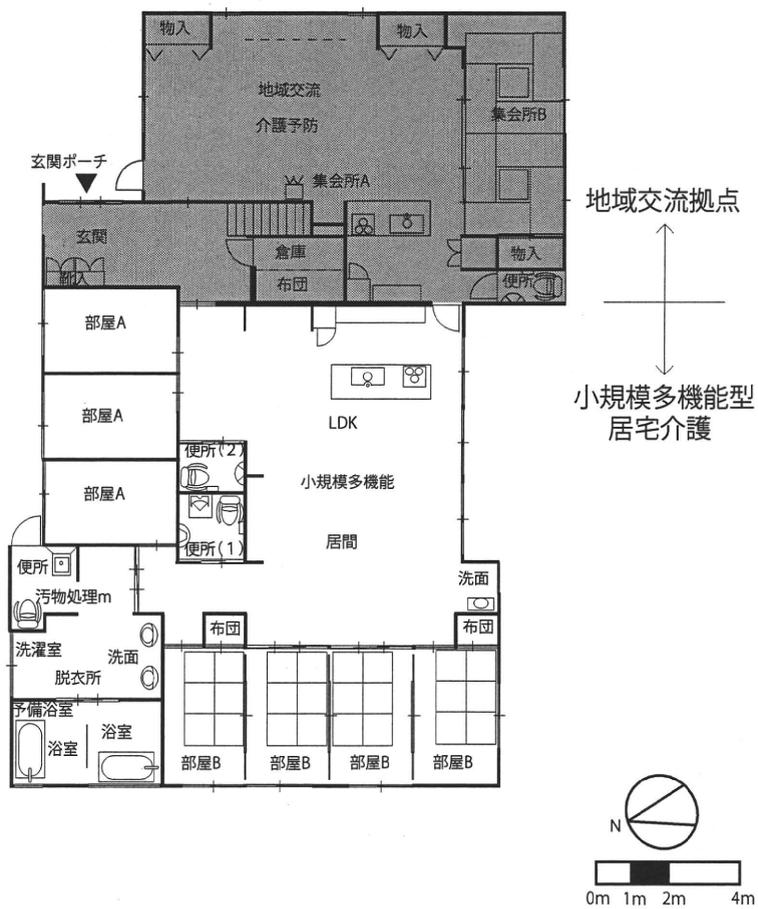


1:900

えんじゅ 配置図



えんじゅ 北側立面図 1/400



地域交流スペース面積：43.27㎡

えんじゅ平面図 1/200